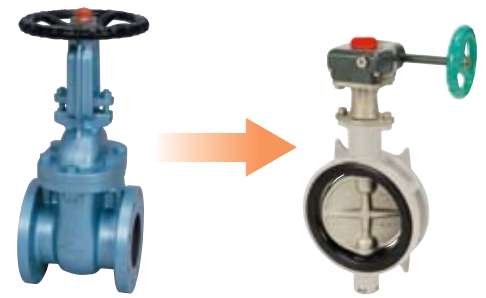


# 軽・小・短・薄 経済性に優れたバタフライバルブ

建築設備や工場設備の中・大口径バルブは、ゲートバルブから「バタフライバルブ」へとトレンドが移っています。

東洋バルブは、豊富なバルブ製造の経験と技術を結集し、建築設備・地域冷暖房供給設備・プロセス工業用などの多様化するニーズにバタフライバルブでお応えます。

東洋 バタフライバルブは、多様なニーズに対応すべく、小口径40Aから大口径1,200Aまで、材料:アルミニウム合金、ねずみ鋳鉄、ダクタイル、ステンレス、構造:ゴムシート中心型、テフロン®/メタルシート二重偏心型、圧力:10Kから20Kまで豊富に品揃えています。



給湯用ゴムシートバタフライバルブは、ビル設備給湯ラインに安心して使用できます。

最近では、塩素投入量の大幅増大など、給水・給湯ラインにおける水質が悪化し、バルブなどの配管材料が厳しい腐食環境に置かれることが増えています。

東洋 バタフライバルブは、このような溶存塩素/酸素の攻撃環境に高耐久性を示すゴムシート材料「ふっ素ゴム FKM」を適用した経済的なゴムシート中心型構造のアルミニウム合金バタフライバルブも品揃えています。

更に、給湯用ボイラーや貯湯槽など高温配管の近傍には、ステンレス製テフロン®シートの「ハーフロー®」バタフライバルブも用意してより厳しい使用条件への対応支援を行っています。



90°開閉型バタフライバルブは、バラエティな操作方法が選択できます。

バタフライバルブは、弁体を90°回すだけで極めて容易に開閉操作を行なうことができます。

手動操作: レバー・ウォームギヤ・センターハンドルギヤ

自動操作: 電動式・空気圧式

などバルブ開閉操作の選択の幅が広く便利です。



## 関連規格

バタフライバルブは、ゴムシート中心型構造について、JIS規格(JIS B2032)が整備されています。しかし、工業標準化法の規定する「JISマーク表示制度」対象製品ではないので、製品にJISマークは、表示されません。

このJIS規格には、本体材料「アルミニウム合金」の他「ダクタイル鋳鉄」製の10K・20Kバルブが適合しています。

また、該当するJIS規格がない二重偏心型ハーフロー®バタフライバルブについては、JV規格(JV-9、JV-8-1)や石油学会規格(JPI/API)に適合した設計となっており、安心してご利用できます。

建築設備におけるデファクトスタンダード(業界標準)と位置付けられる「国土交通省 公共建築工事標準仕様書 機械工事編」には、このJV規格がほとんど採用になっていますので、東洋 バタフライバルブは、各種設備用バルブとしてご利用いただけます。

建築設備の消防防災設備配管や給水設備配管など公的な認証が要求される場所へのご使用も、消防性能評定や日本水道協会型式認証を取得している 東洋 バタフライバルブは、これらの設備用バルブとしてご利用いただけます。

## 活躍するバタフライバルブ

バタフライバルブは、特に、配管スペースや搬入・搬送を重要視する「ビル設備」などに優れたバルブ性能・施工性を示します。東洋バルブは、各種設備ラインに大きな実績と豊富な経験とを有しています。